

2017年 一月塾アンケート

このたびは、一月塾にご参加いただき、ありがとうございました。今後、より良い会を作っていくために、以下のアンケートにご協力ください。

Q1 一月塾を何でお知りになりましたか？

- 一月塾のHP : 7 一月塾主催者のブログ・FB : 37 人づてに : 85
ポスターを見て : 13 インターネット検索 : 3
その他 (講師から直接聞いて、sports medicine を見て、昨年参加してとても興味を持った

Q2 一月塾への参加は初めてですか？

- はい : 91 2回目 : 34 3回目 : 15 4回目 : 12名 5回目 : 2名

Q3 一月塾に参加してよかったですか？

- とてもよかった : 115
よかった : 36
記載なし : 3

Q4 今後改善したほうが良いと思われる項目とご意見があればお書きください。

- 日程・時間帯 : 昨年同様、日曜日が良かったです。

- 開催場所 : 駐車場がわかり見やすいところ
 阪急・JR 沿線であればより便利だと思った
 アクセスは悪くないが、会場費の問題・参加費用の問題はあると思うが、もう少しアクセスの良い場所 (大阪市内)
 大阪の北側は少し行きにくい
 関東でもやってほしい
 泉州でやってほしい。
 東海でもやってほしい。
 大阪など主要駅から遠い。
 泉大津でやってほしい。
 難波・天王寺・梅田など

- プログラム構成 面白い

一つの講義の講義時間は60分で一度休憩があるとうれしい
 シンポジウムの司会がよくわからなかった。わざわざ質問を中断してまで話す内容だったのか。
 吉尾先生の神経学的な話が難しかったので、もう少しゆっくり午前中に聞きたかった。
 解剖系は前半の方が良かった気がしました。

- 参加費用 : リーズナブル、とてもよい

その他：トイレの混み具合等から、休憩時間は20分程度あったらよい

会場内で食事がとれないこと、周囲に食事可能なお店があることを事前連絡していただきたかったです。

席が狭い。

ホール内の空気がこもっていて、頭が働きにくかった。もう少し空調をコントロールしてほしい。

今年は机があったので過ごしやすかったです。

Q5 来年も一月塾に参加したいと思われますか？

ぜひ参加したい：124

テーマによっては参加したい：30

どちらとも言えない：0

あまり参加したくない：0

参加したくない：0

その他（

Q6 今後取り上げてほしいテーマ、その他ご意見・ご質問・ご感想等、自由にお書きください。

- ・慢性の拘縮が起こっている患者様や急性期の患者様へのリハビリについて
 - ・新人に向けた脳のネットワークの説明をしていただけたらありがたいです。
 - ・細かい部分もわかりやすく丁寧に説明していただけたのでより理解することができました。
- ・すごく良い刺激を受けました。発想の転換・評価を大切にし、今後も取り組んでいきます。
- ・初めて知る内容も多く、とても有意義な時間となりました。
- ・臨床の中で、感覚や脳機能といったところおまでなかなか考えがいかないと感じています。
- ・脳機能の話をもう少し詳しく聞きたいと思いました。
- ・ありがとうございました。来年もよろしく願い致します（複数あり）
- ・症例検討（評価中心の治療までのプロセスなど）
- ・私はまだ学生で、いつも教科書や論文ですごくお世話になりました。実際に生講義に参加させていただいて、いろいろな知識・考え方について感じるものがたくさんありました。来年もぜひ参加したいと思います。どうぞよろしく願いします。
- ・筋緊張について
 - ・とても貴重な体験となりました。ありがとうございました。
- ・老健での勤務でなかなか回復期の患者様を診る機会がありませんが、私の中での考え方の幅が広がりました。もっと健側にも注目してみようと思います。ありがとうございました。
- ・年始に先生方の楽しい（勉強になり、なおかつわかりやすい、またやり取りが面白い！）お話を聞いているとほっとします。来年も参加します！
- ・脳卒中の方に対する考え方が変わりました。今後はストーリーをしっかりと考えようと思います。
- ・治療場面の動画や筋電図等を交えて症例検討のようなご講演を聞いてみたいです（鈴木先生）
- ・今回は様々な症例を簡単に紹介していただきましたが、より細かい治療や経過がわかるようなケーススタディが聞きたいです（吉尾先生）。
- ・鈴木先生、吉尾先生がお二人で共通の症例をそれぞれの視点で話し合ってくださいような気があればうれしく思います。
- ・肩、上腕に対しての介入
- ・高次脳機能障害

- ・初めて参加させていただきました。私が普段担当している患者様に対してのアプローチを見直す機会になりました。明日から患者様の再評価、アプローチの展開を変えて、患者様のADL・QOLに繋がる関わりをしていきたいと思います。
- ・急性期・回復期など、病期別の役割、立場からなど。
- ・中枢系疾患の急性期で重要なこと、また寝たきりの状態の患者様に対するアプローチなどについて知る機会があればいいなと思いました。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・脳卒中の肩関節障害、高次脳機能障害など、テーマを絞って他の話も聞いてみたいです。
- ・装具についての考え方や、発想の転換など、明日からの臨床でいろいろ変えていきたいと思います。
- ・姿勢制御とADLについて。維持期では固定された市政の中で日常生活を行い、つい正常動作・姿勢に戻そうとしてアプローチしてしまう。治療できるところとそうでないところをどう判別して評価したらいいのか知りたい。
- ・貴重な学びの機会にいただきました。ありがとうございました。
- ・脳の機能解剖
- ・今回下肢装具についてのテーマで話を聞かせていただいて、お二方の話では双極の話のように聞こえたのですが、使いどころや外していくタイミングを考えることの大切さを知ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。
- ・変形性膝関節症（ガイドライン整形・リハ）同じくCVD関連。
- ・体幹筋の機能について、吉尾先生の考えからも、ご意見いただきたいです。
- ・もう少し参加型になるように、会場の声が聴けると良いなあとと思いました。
- ・患者様の中に情動面の問題（もしかしたら問題があるのかもしれませんが）、アプローチの考え方など知りたいと思います。
- ・生活期の脳卒中者の解釈をどのようにするのか
- ・運動麻痺の本態とは？
- ・とても面白いお話、ありがとうございました。
- ・テーマ：PTが患者さんをよくするために集めるべきデータについて。
- ・高次脳機能患さんに対する歩行障害の介入方法について等勉強になりました。ありがとうございました。
- ・1年目で参加させていただきましたが、評価の視野が広がるととても貴重なお時間を過ごせました。明日から様々な視点で取り組みたいと思います。ありがとうございました。
- ・毎年の開催を楽しみにしております。ありがとうございます。
- ・運動麻痺、筋緊張、痙性、筋力低下などの用語をきちんと整理したい。
- ・今回、学生ながら第一線で活躍される先生方の話に参加させていただき、視点や考え方など気をつけたいことがたくさんあり、勉強を頑張っていこうと思いました。
- ・脳卒中片麻痺の上肢機能について
- ・退院後のリハビリについて。
- ・また、新しい知見を話していただけたら嬉しいです。
- ・ディスカッションできるように、臨床に取り組んでいきたいと思います。
- ・ケーススタディなどで来たら楽しいと思います。
- ・2回目の参加で、今回もテーブルがないと覚悟していましたが、テーブルがあってびっくりしました。ぜひ次回も参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・今回は神経路から病態をとらえるという点で明確でわかりやすい内容と思いました。今後ではケーススタディをもう少し深く、特に運動療法の中での注意点等ございましたら、お話をいた

だけましたらうれしく思います。

参加者：一般 160 名、学生 15 名

アンケート回収：154 名

ご協力、ありがとうございました。